

やさしいにっぽん人 (1971)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1971/03/05

【解説】

東陽一が前田勝弘とともに書いたオリジナル脚本を監督した。ドキュメンタリー作品「沖縄列島」に続いて、東陽一が手がけた初の劇映画。

友人からシャカと呼ばれる謝花治は、バイクショップで働いている。彼には劇団で演出家の助手をしているユメというガールフレンドがいる。普段は無口で寡黙なシャカだったが、ユメの前だけでは色々なことを語っていた。シャカの両親は沖縄の集団自決で命を落とし、そのとき1歳だったシャカだけが生き残ったのだった。シャカはそんな過去から逃れるように、好きなバイクでツーリングに出かける。しかし警官とトラブルになったり、殺人犯と巡り会ったりと、バイクの旅は様々なトラブルで思うように進まなかった。

【クレジット】

監督 東陽一

製作 高木隆太郎

脚本 東陽一

前田勝弘

美術 永沼宗夫

平田達郎

編集 東陽一

関沢孝子

音楽 東陽一

田山雅光

出演 河原崎長一郎

伊丹十三

緑魔子

横山リエ

伊藤惣一

石橋蓮司

蟹江敬三